

策定にあたって

今日、情報社会といわれる時代の中で、世の中にはさまざまなメディアから情報があふれています。そして、子どもや家庭をめぐる状況も変化を続け、「読書離れ」「活字離れ」が懸念される中、子どもたちが必要で安全な情報を得るための正しい判断と技術をもつために、大人たちの知恵がますます求められています。

また、学校などでいじめ問題などがクローズアップされるようになり、子どもたちの豊かな心の成長のために、読書がもつ重要性も大きくなっています。読書は子どもたちの感性を磨き、学ぶ力を育て、想像力を養い、これからの人生を強く生きていく力となるものです。このような時代にこそ、本に親しむ機会をつくるため読書環境の整備が必要となってまいります。

平成20年2月に策定されました「鎌倉市子ども読書活動推進計画」は、本年度が計画の最終年にあたることにより、このたび、「第二次鎌倉市子ども読書活動推進計画」を策定いたしました。この第二次計画では引き続き、家庭・地域、学校、図書館・行政が子どもたちの豊かな読書環境を整備していくことを目標としております。

そして、「本はともだち 本と人との輪づくり」という新たなキャッチフレーズのもと、本を通して人間関係の輪が広がっていく取組みを推進し、子どもたちのコミュニケーション力を高める素材として、本が役立つことを願い策定しました。

本計画の策定にあたりましては、パブリックコメントを通して市民の皆様にご貴重なご意見をいただきました。また、策定委員会には市民委員の皆様が労力を惜しまず参加してくださいました。第一次計画同様、市民と行政が協働で作りあげることができたことに、たいへん大きな意義を感じております。

明日の鎌倉市を創る子どもたちの明るい笑顔のために、また本と触れ合える豊かな環境づくりのため、本計画に取り組んでまいりますので、皆様のお一層のご理解とご協力をお願いいたします。

平成 25 年 2 月

鎌倉市長 松尾 崇